

心の成長と人生の豊かさの心理学

島野 隆



ブログ記事書籍

No. 14

写真と言葉⑤

2012

目次

1章 写真と言葉	5
2012年 1月 9日 (月)	6
「未知への成長」という命綱	
2012年 1月 13日 (金)	8
「理想的な愛」のイメージこそが「心の業」 / 「与えられる愛への望み」は「与えられる愛への充足感」へ	
2012年 1月 14日 (土)	12
「有形の愛」「無形の愛」「愛の意志」	
2012年 1月 20日 (金)	14
「和の行動」とは「個」と「愛」のコンパスで描く円	
2012年 2月 10日 (金)	16
答えは全て自分の中にある、のではありません / この「現実世界」というものを、「今の心」であらかじめ分かろうとすることこそ	
2012年 4月 25日 (水)	20
心の成長とは、いかに「未知」を	
2012年 4月 26日 (木)	22
行動と人生のハンドルさばきとしての論理的思考	
2012年 5月 4日 (金)	24
思考によって感情を変えようとしてはいいのでしょうか	
2012年 5月 10日 (木)	26
一つのものごとを考えるのに、常に人よりも2時間多く時間をかけることを惜しむな	
2012年 5月 12日 (土)	28
人から親しく接してこられるどうかは、結局のところ	
2012年 6月 9日 (土)	30
私だけに対する「神の声」	
2012年 8月 1日 (水)	32
自分に価値があるのか分からない、と悩む人へ	
2012年 8月 8日 (水)	34
これがなければ生きていけない、と絶望する人へ	

2012年 8月 29日 (水)	37
成長とは	
2012年 9月 30日 (日)	38
“成功”の最も重要な解釈	
2012年 10月 22日 (月)	41
“使命”を感じ取るための心の技術 / 3つの「業」	
2012年 10月 24日 (水)	45
命が最も輝く時 / 「気持ちのおさまり」を求めようとしてはいませんか	
2012年 10月 25日 (木)	49
ただただ人と人と一緒にいても、心は満たされません	
2012年 10月 27日 (土)	51
「失われたものへの悲しみ」は、やがて「得たものへの深い喜び」へ	
2012年 12月 10日 (月)	53
「生まれてきたことの目的」	
2012年 12月 22日 (土)	56
「未知の愛」への入り口	
2013年 3月 11日 (月)	58
株で10万、20万と儲かることは・・・	

1章 写真と言葉

2012年 1月 9日 (月)

「未知への成長」という命綱

アドバイス考察がてら浮んだ言葉など^^。

「感情を鵜呑みにしない思考」からさらに「感情を導ける思考」への、真髓の表現ですね^^。



目先の感情という命綱をたち切って闇を通り抜けた時、私たちは本当の人生の命綱を知ります。

「未知への成長」という、たち切れることのない、太い命綱をです。

2012年 1月 13日 (金)

「理想的な愛」のイメージこそが「心の業」

「人の和アンビバレント」消滅について、「愛を自ら築くものとして目指す」という転換の前後で、感じ方が全く違ってくると書いたのが『完全に消えるまで』その3ですが、これではまだ話がつながらないと思います。

詳しい解説はこのあと書きますが、最後につながる部分とは、「外面の鍵」と「内面の鍵」が重なった時、私たちはその人の和への行動が可能になる、ということですよ。

「外面の鍵」は単純です。「本心」からそれを楽しめる者が、その行動をすればいいのです。これが自分への「当てはめ」ではなく「問い」のための、右ハンドルの鍵です。

一方の「内面の鍵」が複雑です。まず、直感的な言葉へと結晶したものを2つほど『写真と言葉』で出しておきましょう。

「外面の鍵」は一貫としています。それに対し、変わりゆく「内面の鍵」を、何度も回し重ねてみるのです。

まずこれは最初の段階です。重なりようもない（反発の）隔たりがある場合の、内面の鍵です。

「求められる決別」の鍵ですね。



あなたが「今の心」で抱く「理想的な愛」のイメージこそが、「心の業」なのです。それに満たない自分と他人へと怒りの中で破壊へと走り、「未知の愛」という真実の答えを破壊する、そんな「心の業」として。

「与えられる愛への望み」は「与えられる愛への充足感」へ

今日2個目。先の『写真と言葉』に引き続きのシリーズです^^。

こっちは「外面の鍵」と「内面の鍵」が重なる直前のものだと言えるでしょう。

難解な心のパズルです。解説はこの後で^^。



あらゆる「べき」を捨てた、幼い魂のままの「与えられる愛への望み」を心の中で開放し看取った時、それは「与えられる愛への充足感」へと変わり、その衝動は薄れていきます。

**これが「人の和アンビバレント」完全消滅
への、内面の鍵です。**

2012年 1月 14日 (土)

「有形の愛」「無形の愛」「愛の意志」

昨日の1個目の先の『「理想的な愛」のイメージこそが「心の業」』を別の言葉でいうと、というものを^^。

シリーズ写真にするとすればこれが良かったなあと浮かんだのは2010-07-08『自分がないと、人を愛することは』のものですが、とりあえず今回はこれで。何となくとりとめない情景であるのが言葉との掛け合わせのミソのつもり^^。

『入門編下巻』P.276、P.327など参照^^。



「既知の愛」は有形であり、「未知の愛」は無形です。

そこにおいて、今の心を知る「有形の愛」にこだわった時、「未知の愛」への成長は閉ざされることになります。

「未知の愛」が無形であるとは、外に見える行動として無形であるだけではなく、内に抱く気持ちにおいても無形であるということです。ですから「無条件の愛」のような「未知の愛」を、今の心で想像できる、うっとりするような情愛を誰にでも抱くような心の状態かと想像するのは、誤りです。

そもそもそれは、私たちの意識が「愛」になるということではなく、私たちの存在そのものが「愛」になるということなのです。存在そのものが「愛」になるから、生きること
に惑わなくなるのです。

それが私たちの「意識」において取りえる「形」を言うのであれば、それは「愛の意志」
なのです。

2012年1月20日(金)

「和の行動」とは「個」と「愛」のコンパスで描く円

「基本形」まで軽減した「人の和アンビバレント」からさらにその根本消滅に向かう歩みの一つの軸のエッセンスを、先に『写真と言葉』で^^。
これが「現実世界への前進」の軸のエッセンスですね。

もう一つの軸は「魂の世界」。

そしてこの2つにまたがる「抜け出し」という、3つの軸の先に、問題消滅が訪れる成長の道があるという次第です。



「和の行動」とは、「個」と「愛」の2つの柱
で成るコンパスによって描く円です。

「個」とは「楽しみ」と「向上」であり、
「愛」はその共有です。

大切なのは、「個」が支柱であり、「愛」が描柱であることです。これを逆に考えた時、支柱がしっかりせず、きれいな円を描くことができません。

描柱への幅が大ききほど大きな円を描くことができ、それは結構なことですが、支柱がしっかりしていれば、小さい幅でも、そこに描かれた円はきれいなものになるのです。

もちろん、幅がゼロになった時、そこにはもう円は描かれず、それを「和の行動」として行おうとするのは諦めなければなりません。

2012年 2月 10日 (金)

答えは全て自分の中にある、のではありません

では再び話を「いざない説明」に戻し、心の取り組みへの「逆姿勢」からの入り直すための3つのテーマの最後について説明をしたいと思います。
3つのテーマとは、「全体」「鬼門」そして「扉」です。

「全体」を知り、「鬼門」を心得た上で、実際に心の成長変化へと歩む、その「扉」とは何か。

それは「現実を見る目」です。

ここではまずそれを直感的に表現したものなど、『写真と言葉』で^^。



答えは全て自分の中にある、のではありません。
ん。

答えは全て、自分の外部の「現実世界」にあるのです。その建設的な姿の側面の中に、と言えるでしょう。

世界は、社会は、そして人々は何によって、そしてどのように動くのか。

それを一言でいえば、最後に勝つのは「生み出す者」なのだ、ということだと言えるでしょう。

その答えを「心」が捉えた時、自分の心の奥底にある「魂」と「命」が、息吹を取り戻し、躍動を始めるのです。

自分の外部に向かって。

その先に、「自分」という心の業が生み出した、全ての惑いと苦しみが消え去り、この「現実世界」へと「命」が輝く、心の歩みのゴールがあります。

この「現実世界」というものを、「今の心」であらかじめ分かってもらうことこそ

今日2個目でこれも『写真と言葉』で。

先の『答えは全て自分の中にある、のではありません』との逆形だと、こうなってしまうもの、と思い浮かんだものです。写真もシリーズで^^。

まちよっと言葉足らずですが、自分を思い返すと浮かんだことです。なぜそうなるのかの難解な心理メカニズムの話以前に、そうした大きな心の業の中で生きていたなあと。

それが転換した成長形が、先のものになるということでもまた眺めて頂くとよろしいかと。

なるべく直感的に響くポイントを中心に、この後の「いざない説明」続きにて^^。



私たちが生きるこの「現実世界」というものを、「今の心」であらかじめ分かるうとすることこそ、私たちの心の業の深い穴への、最も大きな入り口と言えるでしょう。

「内面の地獄」に通じる、心の業の深い穴へのです。

「未来が全て分かったら、どんな素晴らしい得ができるだろう」。私たちは誰もが、人生の未熟の時にそのように空想します。

しかしそうして「今の心」であらかじめ分かるうとする姿勢の中で生き始めた時、人との間にトゲトゲしい溝が流れ始め、私たちは現実世界そのものから、そして人生から、疎外されるのです。

2012年 4月 25日 (水)

心の成長とは、いかに「未知」を

読者広場で以下にコメント入れてあります。

悩みの内容は人それぞれですが、**問題の構造**と**取り組みアプローチ**は皆同じになりますね^^。

『進展』 しっぽさん No.455 2012/04/18

つれづれ+写真と言葉の記事など^^。

今日（日付は昨日）は地元群馬県内の丸沼高原スキー場に行ったのですが、帰りになんと**シカ**を見かけました。

ゲレンデから帰る道間もなく、道ばたに堂々と**2頭のシカ**がいて、思わず写真撮ろうと**車を車線上のまま停め**（たいして車通ってなかったので^^ゞ）、**カメラ**を手に車から降りた時には**さすがに向こうも警戒して林**の方に逃げ、20mほどの距離で**こちらをうかがっている姿**を納めたものです。

こうした**野生の動物**を見かけるというのも、**自然が回復**したというより**逆に**、**本来の住処が減り**、**人間のいる地域に下りて来ざるを得なくな**ってきているということかも知れませんね。

・・と写真をただ**つれづれ**で**ブログ**に**アップ**しようかと思っている最中、**全く関係ない流れ**で浮かんた**言葉**が**写真に結構合っている**感があり、久々の『**写真と言葉**』に昇格（^^;）。

ま「**えっ自分がこんなこと感じるとは**」という類ですが、どんな**流れ**で浮かんたのかは**ごく私的なこと**からゆえ、まいずれ**島野日記**の中でも^^。



心の成長とは、いかに「未知」を心に迎え入れられるかによって決まるもののようです。

2012年 4月 26日 (木)

行動と人生のハンドルさばきとしての論理的思考

ここ最近の解説を一言に集約したようなものを、『写真と言葉』にて^^。

なお写真は今月上旬の苗場スキー場にてのもので^^。

なおあさって朝から出発し、また父と北アルプス散策に行く予定です。3日間の予定。執筆をまた次の展開に移すところでちょっとバタバタになっていますが^^; ちなみに昨日はBSアンテナを家の屋根のTVアンテナ支柱に設置する作業などしていました。一人で作業のため、小型のTVを屋根の上に持参して受信レベルを確認しながらといった作業^^)v (←服の寸法直しの裁縫から大きな石を運ぶ庭師の作業まで何でも自分でやってる今日この頃の島野^^) 出発前にまたお知らせします^^。



「目的」をはっきりさせることで「行動」のハンドルさばきとしての論理的思考が成り立ち、それがどのように自分の「望み」なのかを問うことで、「人生」のハンドルさばきとしての論理的思考が成り立ちます。

2012年 5月 4日 (金)

思考によって感情を変えようとしてはいいのでしょうか

今日2個目です^^。

『ハイブリッド人生心理学とは』の原稿を練りながら、一番基本的な方向違いは結局これだと浮かび始めたと同時に、『写真と言葉』にするなら・・と、これも先日『北アルプス涸沢にて^^』の写真と同じ日(4/29)、上高地に下りてきて撮った賢そうなサルの写真が、そのサルが語る言葉の絵としてぴったりだと浮かび、言葉がこう整いましたというものを^^。



あなたは思考によって感情を変えようとしてはいいのでしょうか。

それをしようとした時、感情をより豊かなものに本当に変えていく、「命の力」が閉ざされま
す。

思考は感情を変えようとするためではなく、行動を変えるために使うのが正しい使い方です
よ。

そうして行動が本当に現実において良いものになることを感じ取った時、感情は自ずと、本当に良いもの
に変わっていくのですから。

2012年 5月 10日 (木)

一つのものごとを考えるのに、常に人よりも2時間多く時間をかけることを惜しむな

ご相談アドバイスを検討がてら浮かんだ言葉を、上高地で撮った賢そうなおサルさんの言葉シリーズ第2弾としてアップませう。

第3弾、第4弾と続くかどうかは……、知らない^^;



一つのものごとを考えるのに、常に人よりも2時間多く時間をかけることを惜しむな。
安易にすぐ結論をまとめようとする姿勢をやめて。

より確かな情報を探すことに1時間。どれが一番いいかを考えるのにさらに1時間。

その先に、人生の生き方への自信は、10年20年といった積み重ねの中で、人よりはるかに遠くへと進むことができるのですよ。

日々の生活においても、ほぼ全てのものごとに自分なりの答えが出て、もう何も惑い煩うことなく、もはや「考える」ということさえ不要になるものとして。

2012年 5月 12日 (土)

人から親しく接してこられるどうかは、結局のところ

読者広場で以下に引き続き 2つ目のコメント入れてあります^^。

『人間関係について』 ゆんすさん No.457 2012/04/23

ふと浮かんだ言葉をまた『写真と言葉』にて^^。

おサルさんの言葉シリーズ第3弾にしようかと一瞬思ったものの使えそうな写真がもうなかったため、これは先月の桜の写真です^^。

なおヤフオクで送料込み1,000円で入手したADSLモデムは首尾よく動作し、ルーターを介してネットにつながるよう復旧。さっそくレンタルモデムの返却の手配をし、新品ルーターは結局用無しだったためヤフオクに出品しようかと思案中。

一方、セットアップしたXPはしばらく使おうと思っていたものの、丸2日とたたない内に言語バーがおかしくなる等、細かい足手まといが目につくようになり早々と元のWindows2000マシンに戻した次第。やっばこれだから結局Windows2000を使い続けることになるんだよなーと。

Windows2000はディスク容量も少なく、レスポンスも早く、長期間使っていても安定しているのを感じますね。識者の間では「Windows史上最も優れたOS」と評価されているとのこと。

ちなみにこの言葉は、ちょっと解説入れときますと、『特説・「心が良くなる」とは』シリーズで「現実の法則」というものを言っている中の、「行動と感情の法則」の領域の一つの例になります。

(3/12『特説・「心が良くなる」とは-8・異次元への高まり2』)

こうしたものについて、いかに歪めることなく、ということはずまり自分の要求や衝動のフィルターをかぶせずに、ありのままの現実世界を、自立する心の目において認識するかが、決め手になってきます。心が成長する決め手にです。

そうした、自立する心においてありのままの現実を見る目によって、解説記事がまだ追いついていませんが「現実を見る目」の4態である「知る・学ぶ・晒す・超える」の3つ目、「(心を)晒す」というのができるようになってきます。

それによって、私たちは「命」に近づく、というものです。

おまけの文章の方が大分沢山になりましたね^^。



**私たちが人から親しく接してこられるどうかは、結局のところ、私たちがその相手に、本当に本心からどれだけ興味を持っているかによって決まるようです。
いかに自分が相手から興味を持たれるかに興味を持つかではなく。**

2012年 6月 9日 (土)

私だけに対する「神の声」

またふと浮かんだ言葉を、先日のものに引き続いての**日食**の（半分ウソの加工付き^^;）写真などで^^。

「ハイブリッド人生心理学とは」の次のパラグラフで書く「**命の開放**」も、多少こうした面があるかも知れませんね。まこれが**心の全てになることはまずない**だろうという**最終的な歩み方**の姿も書く予定^^。



これは誰もがそうする必要などない、私だけに対する「神の声」なのかも知れません。

「外部から与えられるものによってではなく、自ら生み出すものによって、満たされなさい」、と。

2012年 8月 1日 (水)

自分に価値があるのか分からない、と悩む人へ

新聞のいじめ関連記事を見ていて浮んだ言葉など、今回の北アルプス行でも最もお気に入りの写真の一つと一緒に、『写真と言葉』にて^^。

解説文の中でも使いたいなと感じますが、うまく収まるかはちょっと未定^^ゞ

場所は「常念岳」山頂にて。夏山では朝に雲が山の麓に下がっているため、こうした雲海は比較的よく見られます。これが夏山に行く目的の一つでもある^^。今までの『写真と言葉』で使ったものとしても以下など・

2010-08-21 『「魂の成長」』

2010-09-24 『人生を考える基準』

2010-10-30 『成長の本質』

2010-11-09 『「感情と行動の分離」の真髄・スピリチュアル』

2011-07-17 『「嘆き」と「本心」』

2011-07-21 『自分で心を良くしようとしてはいけません』

2011-09-20 『「命の開放」とは「喪失を超えて望む力」の開放』

2011-12-30 『「未知」への心の変化成長を決するもの』

と思った以上にありましたね。ふーっ (←検索とリンク編集の作業一服^^;)



自分に価値があるのか分からない、と悩む人へ。

あなたに、どんな価値があるかではないのです。

あなたが、どんな価値に向かうか、どんな価値を生み出していくかなのです。

2012年 8月 8日 (水)

これがないと生きていけない、と絶望する人へ

解説ページおよびアドバイスを考えながら、結構気に言った言葉回しが入ったため『写真と言葉』で^^。

先日の8/1『自分に価値があるのか分からない、と悩む人へ』と、タイトルと写真はとりあえずシリーズっぽい感じで。ま内容も結局そうか^^。

写真は先日の北アルプスでのものです^^。



これがないと生きていけない、と絶望する人へ。

その内容は人さまざまです。才能や美貌、財産、人に好かれる性格、豊富な人間関係、健康、エトセトラ、エトセトラ。

その根底に、これがあれば幸せになれるはずだと想像するものが、現実において不足していることに怒り破壊を向け、現実をさらに貧弱にしていくという、人間の心の業があります。

それは逆に、今生きていないから、そのように絶望するのです。

「これさえあれば」と空想するものを、自分がどのように身にまとうことができているかの自己満足に、自意識の密室の中で一喜一憂する姿が、そこにあります。

その代わりに、誰に対しても、どんな場面に対しても、自分の行動に自身が持てる、自分が今生きているという本当の充実感を感じることができ、そしてそれら全てを総合した、「人間としての自分への自信」を持てるようになるといったことを、自分が全て放棄していることに気づかないまま。

そのように人間としての中身が空洞であるほど、良くできた楽器のように、「これさえあれば」と感じるものを自分がどう身にまとえているかが、大きく響くのです。

今を生きることを積み重ね、人間として中身がつまってくるほど、それはもうあまり響かなくなります。

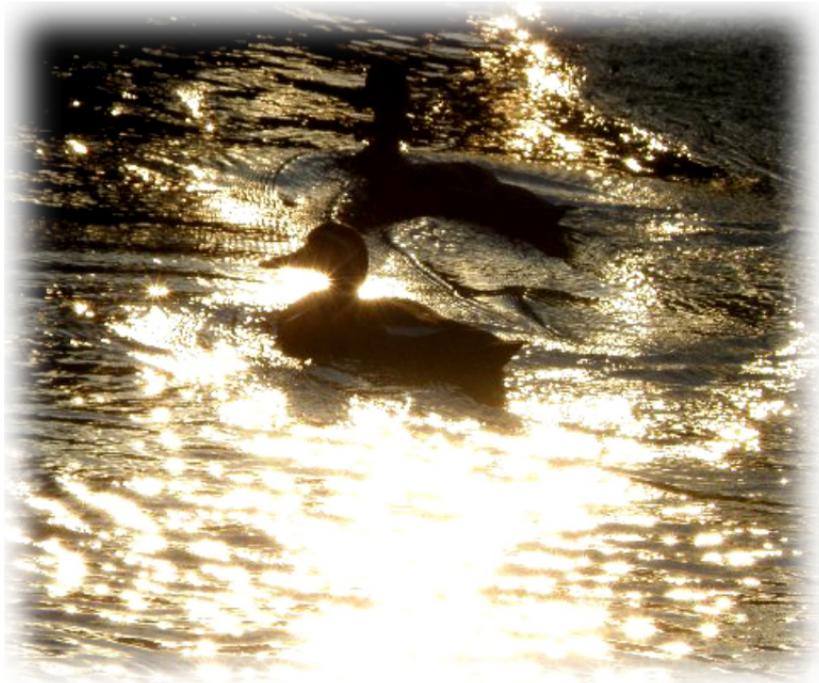
今を生きるとは、本当に望むものに向かい、そして本当に愛するもののために、全力を尽くすということです。

2012年 8月 29日 (水)

成長とは

「**学び**」について一通りまとめようということで、ちょっと浮んだごく基本的な言葉など^^。

写真は先日のもと同じ、**近所の神社近くの川**でのもの。



「成長を知る」のが成長ではありません。

「自分の未熟を認める」のが成長です。

2012年 9月 30日 (日)

“成功”の最も重要な解釈

『読者広場』で以下コメント入れてあります。また追加コメントありそうか見ておきますので^^。

『一方的な暴力について』 ゆうすけさん No.492 2012/09/28

『5W1Hで「人生を生きる論理的思考」を^^』 しまの No.493
2012/09/29

解説続きはまたちょっと話の流れを切り換える必要がありそうで、言葉を練るのにまだ時間かかりそうということで、ちょうどテーマの「人生観」がらみの『写真と言葉』など^^。

寝つけ葉がてら今読んでいるクリストファー・リーヴ『あなたは生きているだけで意味がある』に出ている言葉で、まさに同感というもの。ちなみに今アマゾンでは1,970円の中古1冊のみとなっていますが、僕が買った時は5円の中古本でした^^;

これはなかなかいい本ですね^^。

一方次に読む本を買っておこうかとは思っているものの、心理系や人生論系の本はほとんどが寝つけ葉がてらにさえ読む気になれない、中身のなさそうなものばかりなんだよなーとぶつくさ^^;

「子育て」に関する章の冒頭に出てくる言葉で、子育てについてであることを示す言葉はちょっと編集入れてます^^。

なお写真はGW入りばなに北アルプス涸沢に行った時のもので、麓からの「前穂高岳」です。夕刻のもの。



“成功”とは何を意味するのか、私たちは皆それぞれ違った考えを持っています。

人生において真に情熱を捧げられる何かを探し出すこと。

それが“成功”の最も重要な解釈だと思います。

ー クリス

トファー・リーブー

念のためクリストファー・リーブがどんな人物かと言うと、映画『スーパーマン』主演の俳優で、その後落馬事故で脊椎損傷し全身麻痺になったものの、極めてエネルギッシュに生きた人です。もとのスーパーマンぶりで前向きに生きたのかと思いきや、やはり事故後は死を望む絶望を経たようですね。「命」が彼の意識を超えて、生きる力を湧き出させた経緯があったようです。

2012年 10月 22日 (月)

“使命”を感じ取るための心の技術

またちょっと解説続きの文章を練るのに時間がかかっており、そこから浮んだことなど『写真と言葉』にて^^。

「自意識の業」を捨て去る流れがテーマということで。“使命”なんてものも、そうした「自意識の業の捨て去り」の中で感じ取られるという話。

こんな話まで込みにして、どう話を短文にまとめられるか。う〜ん・_・;;

なお写真は7月末の北アルプス行の時のもので、8/1『自分に価値があるのか分からない、と悩む人へ』とシリーズ写真です^^。話もつながっているかもです^^。



人生で成すべき“使命”を感じ取って生きる。これも人生の生き方の一つです。

ではそうした“人生の使命”というものを、どのように感じ取ればいいのか。どのようにつかめばいいのか。

それは、“こんな自分で”という「自意識」によって感じ取るもの、つかむものではありません。

“こんな自分で”という「自意識」を捨て去り、“それでもこれがしたい”“これをしなければならぬ”と感じるものを感じ取ること、つかむものです。

「自意識を捨て去る」という意識法を体得していることが、“使命”を感じ取るための心の技術とも言えるものです。

それは一言でいうと、“こんな自分”という自意識の外にある「現実世界」と、「現実世界」を生きるために自分が人生で体得したもの、そして“こんな自分”という自意識になる前の「望みの感情」そして「衝動」を、同時に感じ取ることです。

3つの「業」

もう一個『写真と言葉』を^^。

こうした言葉の定義を、今まで一か所でまとめて書いたことあったかなと思ひ浮かび。

まあこれがハイブリッド心理学の主題の大きな一面ですね。この先に「魂」と「命」が現れるというのが大きなもう一面かなと。

解説の続きで、この文章を使うかどうかは、う〜ん思案中・・。

写真は先日の北アルプス立山の時のものです^^。



3つの「業」をまとめておきましょう。

「人間の業」とは、「目的思考を欠いた善悪と人間評価」の思考を振りかざして他人を支配することであり、

「心の業」とは、自分から不幸になるという、私たち人間の心の動きの一般的な傾向であり、

「自意識の業」とは、“こんな自分で”と「自意識」によって「自分」をしっかりと持とうとすることで、逆に自分を見失うことです。

そのそれぞれの克服について知っておくのが良いことです。

それは「自分自身に対する論理的思考」と「目的思考」をしっかりと行う先に、建設的な行動法の知恵とノウハウを体得し、そして最後に、「自意識の業」によって自らが敗れることを知った上で、“こんな自分で”と「自意識」によって描く「望み」へと、向かうことなのです。

これ以外に、答えはありません。

2012年 10月 24日 (水)

命が最も輝く時

今日はまずはおとこの『写真と言葉』のシリーズ続きを^^。
話の流れとしては、8/1『自分に価値があるのか分からない、と悩む人へ』
の**写真**とこれを**入れ替える**のがいいかもですね^^。



**自分の命よりも大切なものを見つけ出した
時、
自分の命が、最も輝きます。
そしてそれに向かって歩む時、さらにもっ
と輝きます。**

「気持ちのおさまり」を求めようとしてはいませんか

最近には珍しく1日で3個目の記事で、また『写真と言葉』を^^。

以下に引き続き、「賢いおサルさんの言葉」シリーズの第3弾。

5/4 『思考によって感情を変えようとしてはいいのでしょうか』

5/10 『一つのものごとを考えるのに、常に人よりも2時間多く時間をかけることを惜しむな』

このオサルさんで使いそうな写真はもうないので、第4弾はなしかと・・・^^;

まあ今回の解説でも、何度でも言っていることですね^^。



「気持ちのおさまり」を求めようとしては
いませんか。

どう考えれば、この気持ちに収まりがつくか、と。どう考えて、この気持ちに収まりをつけるか、と。

それを求めてしまうとは、今から20年後…いや10年後に訪れるであろう「人生の答え」という宝物を、今捨ててしまうということなのですよ。

私たちにできるのは、外面において建設的な行動法の知恵を学び、内面においてありのままの感情を開放し深く理解する。この2面の別々の取り組みを、最後まで続けることなのです。

最初から、最後までです。それが全てです。

2012年 10月 25日 (木)

ただだらだらと人と一緒にいても、心は満たされません

今日も『写真と言葉』を一つ。島野自身の行動法検討の中で浮んだ言葉です^^。

先日の10/22『3つの業』と写真はシリーズですが、話はとくにシリーズではないですね^^;



ただだらだらと人と一緒にいても、心は満たされません。

ただ人と交わるのではなく、人の望みと交わることです。

2012年 10月 27日 (土)

「失われたものへの悲しみ」は、やがて「得たものへの深い喜び」へ

『読者広場』で以下コメント入れてあります^^。

『感情と行動の分離とは』 ホワイトホイツさん No.507 2012/10/25
ハイブリッド心理学における「感情と行動の分離」 ^^ しまの No.508
2012/10/27

また『写真と言葉』^^。ここ2日ほど、ちょっと久しぶりに「魂の感情」に向き合う時間を持ち、その中で感じたことです。

写真は昨日、実際そんなことを感じながら撮ったもので、近くの山登りトレーニングでのもの^^。「失われたものへの悲しみ」を感じていたのが、やがて、「いや、これは“得たもの”ではないのか・・・」と。(実際のこの内容はいずれ日記ブログなどで^^)

解説の続きは、そんなことがどのように起きるかの仕組みの話を含められるよう、どんな文章がさて浮ぶものかと・・・。

なお写真の中の鳥は合成です。ちょっと不自然・・・?^^;



「魂の感情」において、「失われたものへの悲しみ」は、
やがて「得たものへの深い喜び」へと、変化していきます。

2012年 12月 10日 (月)

「生まれてきたことの目的」

執筆向け時間を増やせるよう落ち着いてきてはいるのですが、今度はまた文章練るのにかなり時間がかかっている場所になっており、つい文章浮ぶまでこれやるかと気持ちが雑用に向かいがち（家の各種装備の自作やら自分で服の仕立て直しやら沢山あるもので^^ゞ）な今日この頃ということで、『写真と言葉』など^^。

いちおう次の原稿部分を練っていて浮んだものです。写真は千葉時代のもの^^。

なお『入門編』の出版契約が今月で終了となり、残念ながら売れきり増刷とはならず出版社による販売終了に相成りました候。（←この語尾何調?^^;）がこれを逆手に、逆転ホームラン的（?^^;）な新たな企画を考えており、年明け早々頃にサイトトップ画面のリニューアルとともに大々的にその新企画を発表しようかと思っています。

この新企画とは何だと思いませんか。当たった方にこれこれの商品を・・と思わず懸賞にしたいくなるような、我ながら気に入ったアイデアが浮んでいる次第です。

こんなことではと思い浮んだ方がおられたら、ぜひこの記事へのコメントなど入れて頂くと面白いかと。その場で正誤発表していきますので^^。



人生を生きることの全てを、「目的思考」によって進めていく。

そう聞いて、こんな言葉を言う方がおられるかも知れません。

「では、生まれてきたことの目的とは何なのか」「生きることの目的は何なのか」、と。

そうではありません。「目的」は、生まれたあとから、私たちが自分自身で見つけていくものなのです。自由にです。

**生きる中で、「目的思考」で歩んでいきます。
まずは目の前の具体的な現実世界に目を向け
て。**

**「生まれてきた目的」「生きることの目的」と
いう言葉が出てくるのは、そうした具体的な
「目的思考」がうまくできていないことの表れ
です。ただそれだけのことです。**

2012年 12月 22日 (土)

「未知の愛」への入り口

『読者広場』で以下コメント入れてあります^^。

『お久しぶりです』 ゆうすけさん No.529 2012/12/09

(第2レス) 『「心の成長過程への理解」を持っておく^^』 しまの No.534
2012/12/22

次の解説を練る中で浮んだ言葉ですが、そのまま入れるかどうかは未定ということで、『写真と言葉』にて^^。

「否定価値の放棄」の大きな転換に伴う一連の感情変化の中の、最大のものが「愛」についての捉え方の変化ですね。それを表現する言葉の一つになります^^。ワンプレーズの短文。

写真はちょっとあまり言葉と関係ないですが、最近のものということで^^; ..ってちょっと関係なさすぎ?^^; ちなみに写っているのは、先日の12/14『引き続き練ってま〜す^^』で紹介した「イレクター」で作ったTVテーブルです。下にローチェストを収められるサイズのお手製で、千葉マンション時代に作ったもの^^)v

今日みたいな日の出ない日はさすがに着込んでも足先が冷たく、自作コタツがPC机の下で大活躍です^o^。



**「既知の愛」を失うことを受け入れた時
が、「未知の愛」への入り口です。**

2013年 3月 11日 (月)

株で10万、20万と儲かることは・・

久々の『写真と言葉』です。ま心の銘というより、ここ最近の株価上昇について感じた、どーでもいい島野語録 (^^;) という感ではありますが、いちおう次にアップの「人生の望みへの向き合い」という話の一環ではありますね。

写真も最近あまり撮っておらず、とりあえず

2012-12-22 『「未知の愛」への入り口』

の時のものなど。企業ロゴの家電製品などちょっと株の話につながるものかと。



株で10万、20万と儲かることは良いことだが、100万、200万と儲かることは、あまり良いことではない。

何のことやらという話ですが、まあ島野の場合、ちょうどリーマン後にマンション売ったお金で株も買ったので、その後の上昇でうまく売り抜けていたら200万とかの儲けだったのがその後パー（^^;）という流れ（今も結局差し引きトントン程度）だったのですが、この株投資不成功もあってこそ実家の地にも戻ることになり、母を腰を据えて見送ることも出来る結果になり、自分にとっての執筆の価値を見出すことにもなった。で成功しなくて良かった・・と折りにつれしみじみ思うわけです。

「人生にはふたつの不幸がある。ひとつは金がない不幸。もうひとつは金のあ
る不幸だ」なんて言葉を見聞きますが、まさに、の感ですね。

ともかく、次にアップの「人生の望みへの向き合い」では、「これが自分の人生だと自分で考えることの誤り」といった話など入れます^^。

2013. 9.22 電子書籍版発行

著者 島野 隆(しまの たかし)

Copyright(C) 2013 Takashi Shimano

無償配布許可書籍

この電子書籍は、**内容に一切の変更を加えない形**において、および**無償を原則**として、自由に複製し配布することを許可致します。

内容の**著作権は島野隆**が所持します。

内容を改変しての、また有償による配布を禁じます。

印刷ガイド

この電子書籍は、「**四六版**」**サイズ横書き**で作成されており、**Acrobat ReaderのA4印刷**では

- ページサイズ処理…複数
- 1枚あたりのページ数…2
- ページの順序…横

を指定して印刷して頂くと読みやすいかと思えます^^。